

提案発表 「絵や立体、工作に表す活動」分科会 (下学年)



大野小学校 村井 美早紀

はじめに

児童の実態

○1年生19名。明るく、元気。何事にも一生懸命、図画工作科が楽しみ課題

○イメージや表現したいことを思い浮かべることが困難、
自信をもてない



育成したい力

○自分の表現に自信をもち、主体的に活動できる
○自分の感じたことや考えたことをもとにイメージを膨らませられる
○試行錯誤しながら自分だけの作品を表すことができる

指導の実際

題材「わたしだけのふしぎなとり ～さわってまぜて きもちいい～」

目標

ア 手や指で描くことを通して、触った感じや絵の具の跡の形、色の違いに気付くとともに、手や指などの動かす勢いや速さ、強さ、方向を変えるなどして線や形などを表す。
(知識及び技能)

イ 表したいことを見つけ、形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりして、どのように表すか考えるとともに、「とろとろ絵の具」の面白さや楽しさ、形や色、表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げる。
(思考力、判断力、表現力等)

ウ 「とろとろ絵の具」の気持ちよさを味わい、手や指につけて塗ったり描いたりする学習活動に楽しく取り組もうとするとともに、自分や友達の仕事のよさや工夫点について考え、話すことを楽しもうとする。
(学びに向かう力、人間性等)

指導の実際

指導計画(全4時間)

- | | |
|-----|---|
| 第1次 | 液体粘土と絵の具を混ぜて「とろとろ絵の具」をつくり、どんなことができるかを考え、いろいろな表現方法を試す (1時間) |
| 第2次 | 前時に試したことをもとに、「とろとろ絵の具」で「わたしだけの不思議な鳥」を考え、工夫して表す (2時間) |
| 第3次 | 友達と互いの作品を鑑賞し、よさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方について感じ取ったり考えたりし、見方や感じ方を広げる (1時間) |

第1次 液体粘土と絵の具を混ぜて「とろとろ絵の具」をつくり、どんなことができるかを考え、いろいろな表現方法を試す (1時間)



とろとろ絵の具のつくりかた

まぜるいろは 2つまで



こくしたいときは たす



3つよりおおくいろを
つくりたいときはこうかんする



液体粘土と絵の具を混ぜた「とろとろ絵の具」づくり



児童の作品



たくさん色が
あつまりました!!

第2次

前時に試したことをもとに、「とろとろ絵の具」で「わたしだけの不思議な鳥」を考え、工夫して表す (2時間)



前時の振り返り・工夫の仕方の確認





くみあわせる (かく・おす)

おす (手のひら・ゆび)



のぼす



広げる



たらす



まぜる



かさねる



ゆびのうごかすはやさをかえる



しろをつかう



ひっかく

前時の振り返り・工夫の仕方の確認





第3次 友達と互いの作品を鑑賞し、よさや面白さ、表したいこと、
いろいろな表し方について感じ取ったり考えたりし、見方
や感じ方を広げる（1時間）



鑑賞会のようす



結果と考察

指導の手立て

- (1) 主体的に取り組むための材料・題材の選定
- (2) 様々な表し方を生み出す指導の手立て
- (3) 表したいことを見つけ表現の仕方を考える手立て
- (4) 自他の表現のよさや工夫点に気づき、認め合う場の設定

結果と考察

(1) 主体的に取り組むための材料・題材の選定



結果と考察

* (1) 主体的に取り組むための材料・題材の選定



材料 「とろろ絵の具」

* (1) 主体的に取り組むための材料・題材の選定



材料 「パステル造形紙」

＊(1)主体的に取り組むための材料・題材の選定



題材

題材名の工夫

「不思議」 → 固有の色にこだわらない
不思議な形や色

「わたしだけ」 → 自分だけのオリジナル

(2)様々な表し方を生み出す指導の手立て



＊第1次 とろとろ絵の具に親しむ様子





くみあわせる (かく・おす)

おす (手のひら・ゆび)



のばす



広げる



たらす



まぜる



かさねる



ゆびのうごかすはやさをかえる



しろをつかう



ひっかく



(3) 表したいことを見つけ表現の仕方を考える手立て



どこにいる「とり」かを
かんがえているをえらぶ



たて よこ どちらでも○



とりの めと くちばしをかく



前時の振り返り・工夫の仕方の確認

ふしぎなとり

「とろとろえのぐ」をつかって、
でわて まぜて きもちいい～
ざかいに | わのふしぎなとりをかこう



とろとろえのぐ

がようし

きをつけること

「とろとろえのぐ」をつかって、
でわて まぜて きもちいい～
ざかいに | わのふしぎなとりをかこう

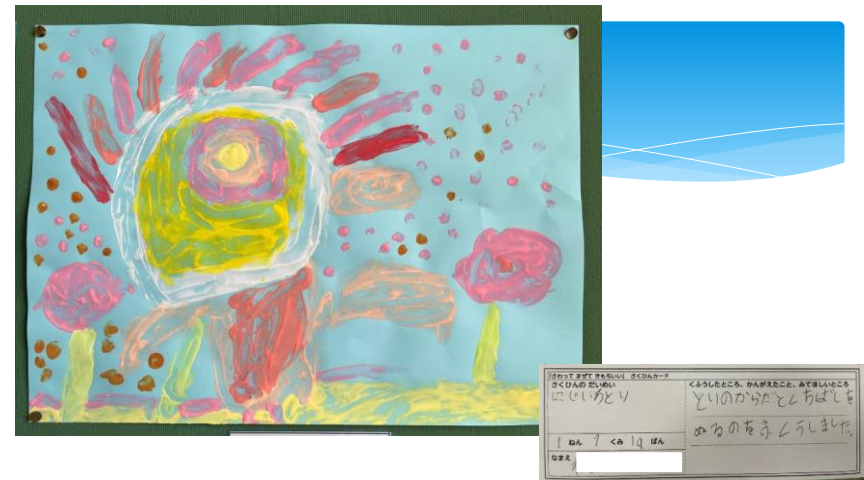
とりの めと くちばしをかく

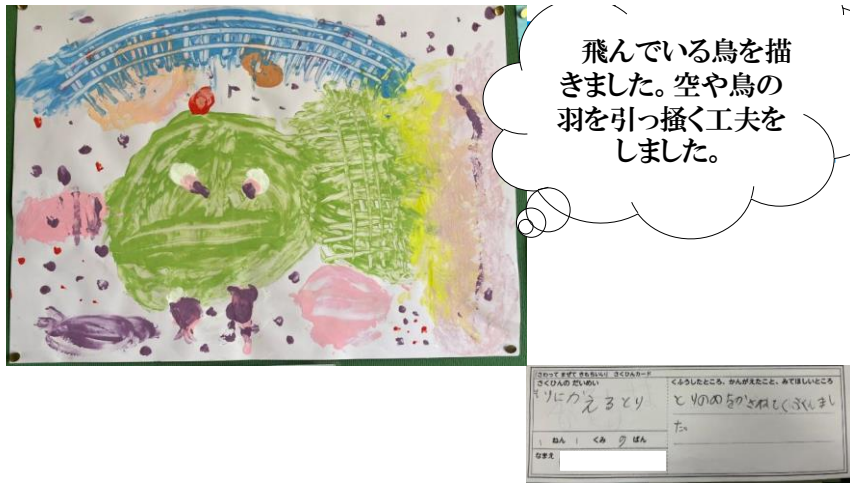
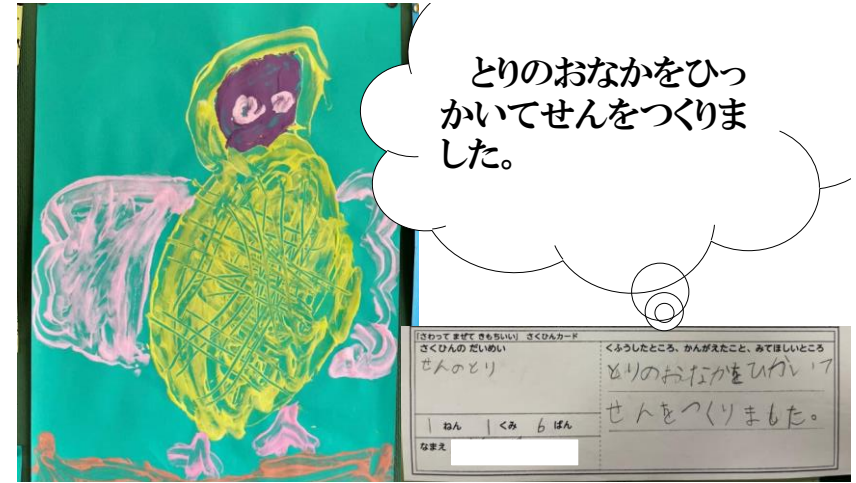
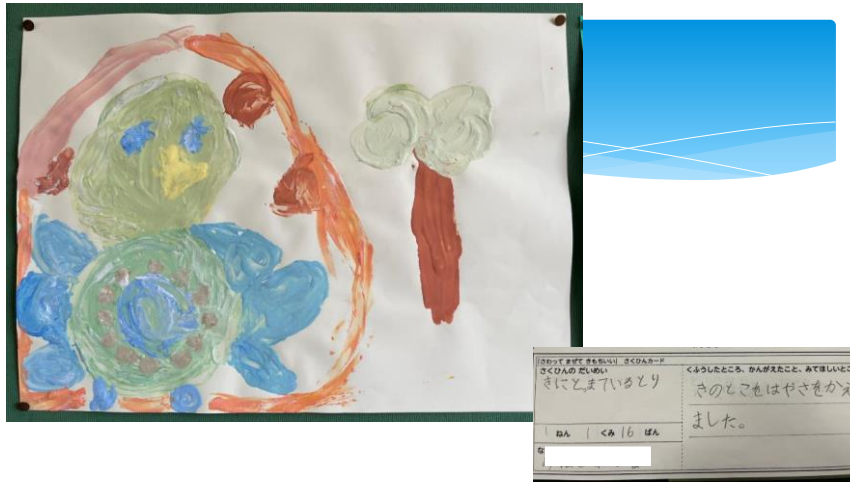
がようしに
おおきく | わの
とりをかく





(4) 自他の表現のよさや工夫点に気づき、 認め合う場の設定







研究授業後の様子



研究授業後の作品



おわりに

